

Asset Management

HSBC B I C s オープン

ファンドの名称を2023年2月3日付けで、「HSBC B R I C s オープン」から「HSBC B I C s オープン」に変更しました。

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第18期 (決算日2023年9月29日)

作成対象期間
(2022年9月30日～2023年9月29日)

第18期末 (2023年9月29日)	
基準価額	14,663円
純資産総額	5,655百万円
第18期	
騰落率	9.7%
分配金(税込み)合計	300円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

▶当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、弊社のHP(ホームページ)で下記の手順でご覧いただけます。

<閲覧方法>

右記URLにアクセス⇒HP上部の「基準価額」を選択⇒当ファンドのファンド名称を選択⇒「運用報告書」を選択⇒「交付運用報告書・運用報告書(全体版)」の一覧の最新の運用報告書(全体版)を選択すると、当該運用報告書(全体版)を閲覧・ダウンロードすることができます。
※将来、HPの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。

▶運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC B I C s オープン」は、2023年9月29日に第18期の決算を行いました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、B I C s (ブラジル連邦共和国(「ブラジル」)、インド共和国(「インド」)、中華人民共和国(「中国」)) 諸国の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指す投資方針に沿い、運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

HSBCアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング

«お問い合わせ先(投信営業本部)»

電話番号: 03-3548-5690

(営業日の午前9時～午後5時)

ホームページ: www.assetmanagement.hsbc.co.jp



◆運用経過◆

基準価額等の推移について

(第18期：2022年9月30日～2023年9月29日)



期 首：13,635円

期 末：14,663円 (既払分配金(税込み)：300円)

騰落率： 9.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2022年9月29日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

基準価額の主な変動要因

＜上昇要因＞

期初から2023年2月初旬にかけて保有していた「HSBC グローバル・インベストメント・ファンド BRIC Equity クラスJ1C (HSBC GIF BRIC ファンド)」の組入上位に維持していたヴァーレ(鉱業、ブラジル)、アリババ・グループ・ホールディング(一般小売、中国)、騰訊控股(ソフトウェア・コンピューターサービス、中国)などの株価が上昇し、基準価額にプラス寄与となりました。2月初旬以降は、「HSBC グローバル・インベストメント・ファンド Brazil Equity クラスJ1C」および「HSBC グローバル・インベストメント・ファンド Indian Equity クラスJ1C」の価格が上昇し、基準価額にプラス寄与となりました。また、期を通じてブラジルリアル、インドルピー、香港ドルが対円で上昇し、基準価額にプラスに寄与しました。

<下落要因>

期初から2023年2月初旬にかけて保有していた「HSBC G I F B R I C ファンド」の組入上位に維持していたブラデスコ銀行（銀行、ブラジル）、ヒンドゥスタン・ユニリーバ（パーソナル用品、インド）などの株価が下落し、基準価額にマイナス寄与となりました。2月初旬以降は、「HSBC グローバル・インベストメント・ファンド Chinese Equity クラス J 1 C」の価格が下落し、基準価額にマイナス寄与となりました。

なお、当ファンドは2023年2月3日付で約款変更を行い、投資対象ファンドが変更されました。

1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	198	1.430	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(76)	(0.550)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(114)	(0.825)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(8)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.000	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(c) そ の 他 費 用	6	0.042	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.009)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.008)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
（ そ の 他 ）	(4)	(0.025)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用等
合 計	204	1.472	
期中の平均基準価額は、13,874円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

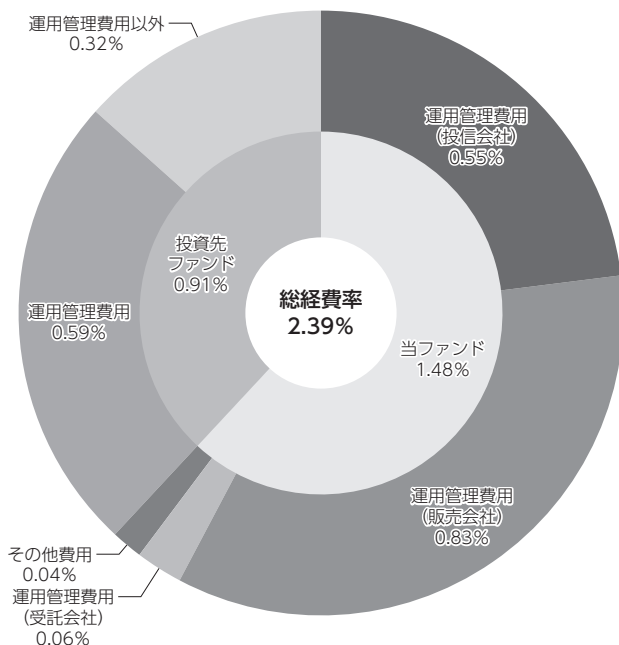
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 委託者は2022年9月1日から2023年8月31日までの期間に、管理会社より118,293.09米ドルのマネジメントフィーを受領いたしました。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.39%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	2.39
①当ファンドの費用の比率	1.48
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.59
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.32

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) ファンド名に「HSBC」を含まない投資先ファンドの運用管理費用以外の費用については、②に計上しています。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について (2018年10月1日～2023年9月29日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2018年10月1日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年10月1日 決算日	2019年9月30日 決算日	2020年9月29日 決算日	2021年9月29日 決算日	2022年9月29日 決算日	2023年9月29日 決算日
基準価額 (円)	14,789	15,026	13,374	18,071	13,635	14,663
期間分配金合計(税込み) (円)	—	400	300	400	300	300
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	4.3	△ 9.0	38.1	△ 22.9	9.7
純資産総額 (百万円)	8,501	8,200	6,793	8,181	5,492	5,655

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

投資環境について**【株式市況】**

当期のブラジル株式市場ではMSCIブラジルインデックス（現地通貨ベース、以下同様）が前期末比で7.8%上昇、インド株式市場ではMSCIインドインデックスが前期末比で12.9%上昇、中国株式市場ではMSCIチャイナインデックスが前期末比で2.1%上昇しました。

ブラジル株式市場は、期初から2022年10月下旬にかけてインフレ率の低下から一進一退しながらも上昇傾向となったのち、ルラ次期政権（当時）の財政政策を巡る根強い不透明感などを背景に12月中旬にかけて途中上下動を見せながらも下落傾向となりました。2023年1月下旬にかけては一進一退を繰り返しながらも値を戻す展開となったものの、その後、欧米を中心とした銀行不安、原油価格の下落、ルラ大統領による中央銀行への度重なる批判などにより投資家心理が悪化し、3月下旬にかけては下落傾向に転じました。7月下旬にかけてはインフレ沈静化に伴う利下げ期待などから途中上下動を見せながらも上昇基調となったのち、ブラジルの主要輸出国である中国の景気低迷懸念に伴い8月下旬にかけては反落しました。期末にかけては方向感に欠ける展開となりました。インド株式市場は、期初から2022年12月初旬にかけて良好な経済指標、好調な企業業績などから途中上下に振れながらも上昇傾向となったのち、インドを代表する財閥アダニ・グループによる不正会計疑惑、欧米を中心とした銀行不安などにより2023年3月下旬にかけて途中上下動を見せながらも下落傾向に転じました。その後、期末にかけては上昇基調となりました。インドの高成長期待、インフラ投資の拡大、外国人投資家による積極的なインド株式の購入、インフレの落ち着きなどが上昇要因となりました。中国株式市場は、期初から2022年10月末にかけて不動産市場を巡る警戒感、根強い景気減速懸念などから下落傾向となったのち、緩和的な金融環境、ゼロコロナ政策の終了に伴う景気回復への期待の高まりなどを背景に2023年1月下旬にかけて上昇基調に転じました。その後、不動産市場を巡る根強い懸念、国内の新型コロナウイルス感染再拡大による景気先行き不安から5月末にかけて途中上下に振れながらも下落傾向となったものの、7月末にかけて一進一退を繰り返しながらも値を戻す展開となりました。期末にかけては途中上下動を見せながらも下落傾向となりました。米中对立下での制裁リスク、不動産市場問題、景気低迷懸念などが下落要因となりました。

【為替相場】

期を通じて、投資対象市場の通貨は対円でブラジルレアルが11.0%上昇、インドルピーが1.5%上昇、香港ドルが3.6%上昇しました。

ブラジルレアルは対円で、期初から2022年11月上旬にかけてインフレ率の低下から一進一退を繰り返しながらも上昇傾向となったのち、ルラ次期政権（当時）の財政政策を巡る根強い不透明感などに伴い2023年1月初旬にかけて途中上下動を見せながらも下落傾向となりました。期末にかけてはインフレ沈静化、財政健全化政策などにより途中大きく上下動を見せながらも上昇基調に転じました。インドルピーは対円で、期初から2022年10月中旬にかけて強含みましたが、日本の大規模金融緩和の一部修正、アダニ・グループによる不正会計疑惑などを背景に2023年2月初旬にかけて途中上下動を見せながらも下落基調となりました。期末にかけては途中大きく上下動を見せながらも上昇基調に転じました。インフレの落ち着き、インドの高成長期待を背景とした海外からの資金流入などが上昇要因となりました。香港ドルは対円で、期初から2022年10月中旬にかけて強含みましたが、日本の大規模金融緩和の一部

修正、緩和的な金融環境などから2023年1月中旬にかけて途中上下動を見せながらも下落傾向に転じました。期末にかけては途中大きく上下動を見せながらも上昇基調に転じました。香港ドルは米ドルに連動することから、米国の金融引き締め長期化観測を背景とした米ドル高・円安進行が上昇要因となりました。

(注) 原則として、指数の騰落率は期首・期末の前営業日の数値を、為替レートの騰落率は期首・期末の数値をもとに算出しています。

ポートフォリオについて

期を通じて、ブラジル、インド、中国の株式等に投資する投資対象ファンド（投資信託証券）へ投資しました。期初から2023年2月初旬にかけて「H S B C G I F B R I C ファンド」の組入比率を高位に維持しました。2月初旬以降は「H S B C グローバル・インベストメント・ファンド Brazil Equity クラス J 1 C」、「H S B C グローバル・インベストメント・ファンド Indian Equity クラス J 1 C」、「H S B C グローバル・インベストメント・ファンド Chinese Equity クラス J 1 C」に概ね均等に投資しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

分配金について

当期における分配金につきましては、基準価額の水準・市況動向等を勘案し、300円（1万口当たり・税込み）とさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第18期
	2022年9月30日～ 2023年9月29日
当期分配金	300
(対基準価額比率)	2.005%
当期の収益	0
当期の収益以外	299
翌期繰越分配対象額	8,820

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◆今後の運用方針◆

米国経済は底堅く推移しているものの、これまでの金融引き締めに伴う経済への悪影響から、今後同国は景気後退局面に入ると当社では見ています。こうした中、ブラジルでは、主要輸出国である中国に一段の政策支援などから鮮明な景気回復が見受けられれば同国向けの輸出増加が期待されること、また株価バリュエーションも妙味ある水準にあること、インドでは、構造改革や設備投資の拡大などを通じて中期的にさらなる経済成長の拡大が期待出来るとともにインド準備銀行がインフレ見通しに対して引き続き慎重な姿勢を維持しながらも、景気に配慮して利上げを停止したこと、中国では、妙味ある株価バリュエーション、一段の政策支援への期待、中長期的な視点では、高い経済成長ポテンシャル、堅調な企業収益見通し、政府の安定した成長を重視する政策スタンスなどが、各々株式市場の好材料になると思われます。

こうした各国の経済環境と市場環境を勘案し、当ファンドは引き続き、「HSBC グローバル・インベストメント・ファンド Brazil Equity クラス J 1 C」、「HSBC グローバル・インベストメント・ファンド Indian Equity クラス J 1 C」、「HSBC グローバル・インベストメント・ファンド Chinese Equity クラス J 1 C」に概ね均等に投資していく方針です。

◆お知らせ◆

約款変更について

2022年11月24日付

当ファンドが投資対象とする投資信託証券を追加する変更を行いました。

2023年2月3日付

当ファンドの実質的な投資対象を「BRICS（ブラジル、ロシア、インド、中国）諸国の株式等」から「BICS（ブラジル、インド、中国）諸国の株式等」に変更し、ファンドの名称を「HSBC BRICS オープン」から「HSBC B I C s オープン」に変更しました。

購入ならびに換金の申込受付不可日から「米国の証券取引所の休場日」を削除しました。

新聞掲載名称の変更について

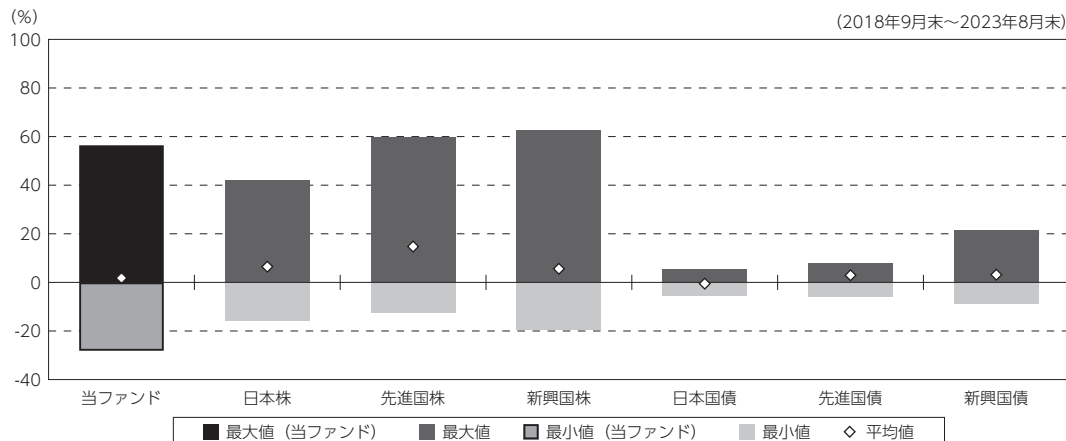
2023年2月3日付

約款変更に伴い、日本経済新聞掲載名称を「BRICS 株」から「B I C s 株」に変更しました。

◆当ファンドの概要◆

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限
運用方針	主として、投資信託証券への投資を通じて、BICs 諸国の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	投資対象ファンド（投資信託証券）「HSBC グローバル・インベストメント・ファンド Brazil Equity」（「HSBC GIF ブラジル株式」）、「HSBC グローバル・インベストメント・ファンド Indian Equity」（「HSBC GIF インド株式」）、「HSBC グローバル・インベストメント・ファンド Chinese Equity」（「HSBC GIF 中国株式」）に投資します。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・HSBC GIF ブラジル株式、HSBC GIF インド株式、HSBC GIF 中国株式に概ね均等に投資することを基本に運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
分配方針	<p>年1回の決算時（毎年9月29日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>

◆ (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較 ◆



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	56.4	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
最小値	△ 28.1	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	1.8	6.5	14.8	5.6	△ 0.5	2.9	3.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年9月から2023年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

◆当ファンドのデータ◆

(2023年9月29日現在)

当ファンドの組入資産の内容

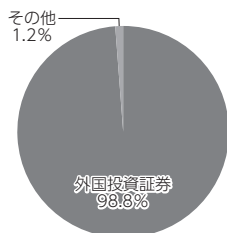
○組入上位ファンド

銘柄名	第18期末
	%
HSBC GIF インド株式	34.9
HSBC GIF ブラジル株式	32.9
HSBC GIF 中国株式	31.0
組入銘柄数	3銘柄

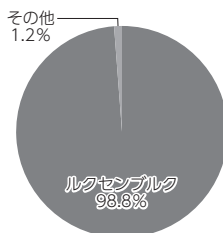
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

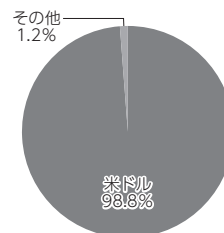
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。国別配分は、国・地域別による配分です。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

○純資産等

項目	第18期末
	2023年9月29日
純資産総額	5,655,196,855円
受益権総口数	3,856,881,130口
1万口当たり基準価額	14,663円

(注) 期中における追加設定元本額は100,150,088円、同解約元本額は271,619,848円です。

組入上位ファンドの概要

◆HSBC グローバル・インベストメント・ファンド Indian Equity クラス J 1 C

(「HSBC G I F インド株式」) (計算期間 2022年4月1日～2023年3月31日)

※以下のデータは、監査済み資料として作成時現在で入手できる直近の計算期間に関する情報です。

○時価の推移



*上記は単位当たりの純資産額 (米ドル) で表示しています。

○1万口当たりの費用明細

「HSBC G I F インド株式」はルクセンブルク籍の外国籍投資証券であり、1万口当たりの費用明細については開示されていないため、記載しておりません。

○組入上位10銘柄

(2023年3月31日現在)

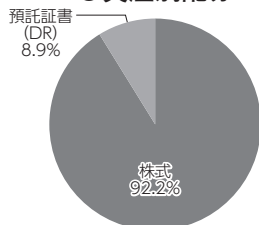
順位	銘柄名	業種	比率 (%)
1	HDFC銀行	銀行	8.1
2	リライアンス・インダストリーズ	エネルギー	7.6
3	ラーセン・アンド・トッポ	資本財	5.1
4	ICICI銀行 ADR	銀行	4.5
5	インフォシス ADR	ソフトウェア・サービス	4.4
6	アクシス銀行	銀行	4.0
7	サン・ファーマシューティカル・インダストリーズ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	3.9
8	HDFC	各種金融	3.4
9	ヒンドゥスタン・ユニリーバ	家庭用品・パーソナル用品	3.4
10	インドステイト銀行	銀行	3.3
組入銘柄数		48銘柄	

・組入上位10銘柄は、「HSBC G I F インド株式」の決算日現在のものです。投資家の利便性に資するため、銘柄の名寄せおよび業種等の編集を行っている場合があります。

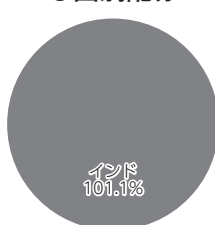
・組入比率は「HSBC G I F インド株式」を含む全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

・全銘柄に関する情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載されております。

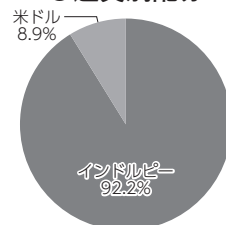
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



・上記は「HSBC G I F インド株式」の決算日現在のものです。

・配分は「HSBC G I F インド株式」を含む全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。

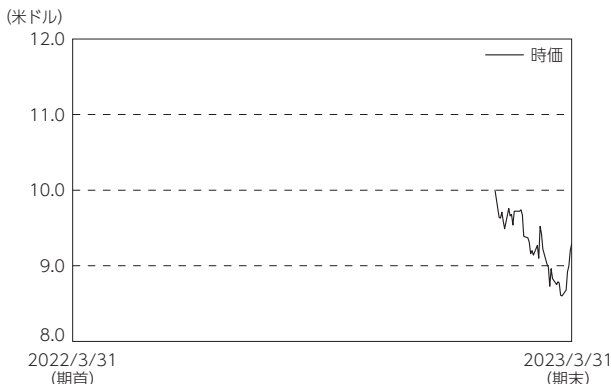
・国別配分は、国・地域別による配分です。

◆HSBC グローバル・インベストメント・ファンド Brazil Equity クラス J 1 C

(「HSBC GIF ブラジル株式」) (計算期間 2022年4月1日～2023年3月31日)

※以下のデータは、監査済み資料として作成時現在で入手できる直近の計算期間に関する情報です。

○時価の推移



*上記は単位当たりの純資産額 (米ドル) で表示しています。

○1万口当たりの費用明細

「HSBC GIF ブラジル株式」はルクセンブルク籍の外国籍投資証券であり、1万口当たりの費用明細については開示されていないため、記載しておりません。

○組入上位10銘柄

(2023年3月31日現在)

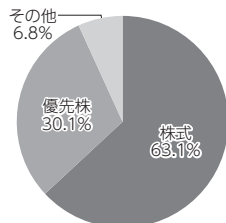
順位	銘柄名	業種	比率 (%)
1	イタウ・ユニバンコ・ホールディング PN	銀行	9.5
2	ヴァーレ	素材	8.0
3	ウェブ	資本財	6.6
4	ペトロプラス PN	エネルギー	5.9
5	ブラデスコ銀行 PN	銀行	4.5
6	ロカリザ・レンタカー	運輸	4.4
7	アンペブ	食品・飲料・タバコ	4.2
8	スザノ	素材	4.0
9	B3	各種金融	3.9
10	パンコBTG/パクチュアル UNIT	各種金融	3.9
組入銘柄数		38銘柄	

・組入上位10銘柄は、「HSBC GIF ブラジル株式」の決算日現在のものです。投資家の利便性に資するため、銘柄の名寄せおよび業種等の編集を行っている場合があります。

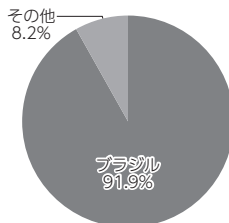
・組入比率は「HSBC GIF ブラジル株式」を含む全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

・全銘柄に関する情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載されております。

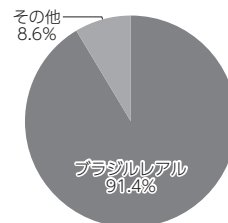
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



・上記は「HSBC GIF ブラジル株式」の決算日現在のものです。

・配分は「HSBC GIF ブラジル株式」を含む全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。

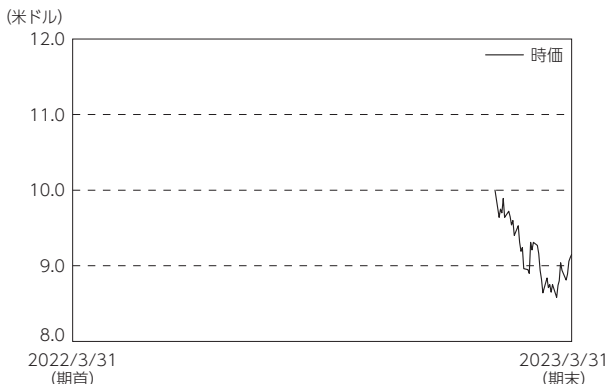
・国別配分は、国・地域別による配分です。

◆HSBC グローバル・インベストメント・ファンド Chinese Equity クラス J 1 C

(「HSBC GIF 中国株式」) (計算期間 2022年4月1日～2023年3月31日)

※以下のデータは、監査済み資料として作成時現在で入手できる直近の計算期間に関する情報です。

○時価の推移



*上記は単位当たりの純資産額 (米ドル) で表示しています。

○1万口当たりの費用明細

「HSBC GIF 中国株式」はルクセンブルク籍の外国籍投資証券であり、1万口当たりの費用明細については開示されていないため、記載しておりません。

○組入上位10銘柄

(2023年3月31日現在)

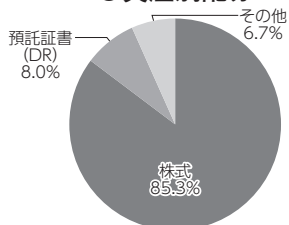
順位	銘柄名	業種	比率 (%)
1	騰訊控股	メディア・娯楽	9.8
2	アリババ・グループ・ホールディング	小売	9.6
3	美团	小売	4.0
4	網易	メディア・娯楽	3.8
5	百度	メディア・娯楽	3.5
6	中国建設銀行	銀行	3.3
7	トリップ・ドットコム・グループ ADR	消費者サービス	3.1
8	貴州茅台酒	食品・飲料・タバコ	2.8
9	拼多多 ADR	小売	2.4
10	中国海洋石油	エネルギー	2.4
組入銘柄数		61銘柄	

・組入上位10銘柄は、「HSBC GIF 中国株式」の決算日現在のものです。投資家の利便性に資するため、銘柄の名寄せおよび業種等の編集を行っている場合があります。

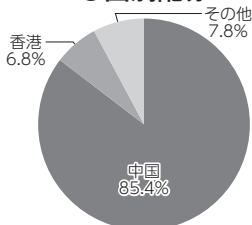
・組入比率は「HSBC GIF 中国株式」を含む全てのクラスを合算した純資産額に対する割合です。

・全銘柄に関する情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載されております。

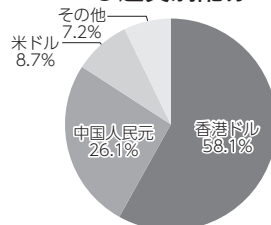
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



・上記は「HSBC GIF 中国株式」の決算日現在のものです。

・配分は「HSBC GIF 中国株式」を含む全てのクラスを合算した純資産額に対する比率です。

・国別配分は、国・地域別による配分です。

◆指数に関して◆

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI 国債

NOMURA – BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。